

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 未来戦略創出会議(第5回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和2年9月1日(火) 15時20分～16時00分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はビデオ通話にて出席
議題		(1) 令和2年度第3回定例会提出予定案件について (2) 令和元年度各会計歳入歳出決算について (3) 令和元年度決算における健全化判断比率の報告について (4) 令和2年度豊島区補正予算(案)について (5) 令和元年度行政評価の実施結果について
公開の 可否	会議	☐ 公開 ☒ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長(欠席)、区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	会計課長、財政課長、行政経営課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和 2 年度第 3 回定例会提出予定案件について

説明者 資料に基づき、令和2年第3回定例会提出予定案件について説明。
⇒提案のとおり決定する。

(2) 令和元年度各会計歳入歳出決算について

説明者 資料に基づき、令和元年度各会計歳入歳出決算について報告。

令和元年度一般会計決算の概要について説明する。まず、収支の状況であるが、前年度との比較では、歳入が 11.1%、歳出が 10.8%の増であり、いずれも過去最大規模である。決算額の予算現額に対する収入率は 92.7%、執行率は 90.3%で、前年度と比べ収入率は 1.9 ポイントの減、執行率も 2.1 ポイントの減となった。過去 10 年間で、収入率、執行率ともに最低となった。形式収支は前年度と比べ 8 億 200 万円の増、また、実質収支は 12 億 5,800 万円の増となった。

続いて歳入の状況であるが、特別区税は対前年度比 3.1%の増、額では 10 億 2,400 万円の増であり、収入済額 340 億 7,900 万円は過去最高となった。特別区交付金は対前年度比 3.3%の増、額では 10 億 6,900 万円の増となった。国庫支出金は対前年度比 8.1%の増、額では 17 億 1,600 万円の大幅増となった。

最後に歳出の状況であるが、義務的経費については対前年度比プラス 0.3%、額では 1 億 9,900 万円の増となり、このうち人件費は 216 億 4,700 万円で、対前年度比マイナス 1.4%、額では 3 億円の減である。扶助費は対前年度比プラス 5.8%、額では 19 億 7,000 万円の増となった。公債費は対前年度比マイナス 36.2%、額では 14 億 7,000 万円の減となった。投資的経費は、対前年度比プラス 123.0%、額では 210 億 1,400 万円の増となった。その他の経費については、対前年度比マイナス 14.3%、額では 73 億 4,700 万円の減となった。

区長 決算額の予算現額に対する収入率及び執行率について、過去 10 年間で最低となったとのことだが、この原因は何か。また、収入率、執行率が過去最低になった一方で、歳入、歳出が過去最大規模となったのは何故か。

説明者 収入率が最低となった一番の原因は、特別区債の発行が予定よりも大幅に少なく、50%を切るような状況となったことである。執行率については、公共施設再構築基金等の基金への積立金が抑えられたことが一番の原因である。

歳入、歳出が過去最大規模となったのは、投資的経費が前年度よりも約 210 億円増えて予算規模が膨らみ、それに伴って収入額も支出額も増加したためである。

区長 原因については承知した。収入率、執行率が低くなった原因についてもわかりやすく記載し、表現についても見直してもらいたい。

説明者 承知した。
⇒報告を一部修正の上、了承する。

(3) 令和元年度決算における健全化判断比率の報告について

幹事 資料に基づき、令和元年度決算における健全化判断比率の報告について報告。

地方公共団体は、毎年度、4つの健全化判断比率を監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告し、公表する必要がある。4つの健全化判断比率のうち、ひとつでも「早期健全化基準」以上である場合には、「財政の早期健全化段階」と区分され、「将来負担比率」を除く3つの判断比率のうち、ひとつでも「財政再生基準」以上である場合には、「財政の再生段階」と区分され、4つの比率がすべて「早期健全化基準」未満である場合には、「健全段階」と区分される。

本区の令和元年度決算における健全化判断比率は、4つの比率のうちいずれも「早期健全化基準」を下回り、「健全段階」の位置付けとなっている。実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質赤字額及び連結実質赤字額がないため、報告では「－」表示としている。また、将来負担比率については、将来負担額よりもそれらに充当できる財源が上回っているため比率が算定されず、こちらも「－」表示となっている。

これらについて、計算上は数値が算出できるため、参考数値として平成28年度から令和元年度までの推移について説明する。実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、いずれも前年度よりも改善している。実質公債費比率と将来負担比率については、前年度よりも悪化している。理由として、実質公債費率については、土地等の分割償還金が令和元年度は多く出たこと、将来負担比率については、将来の職員に対する退職手当分が上回ったことが挙げられる。ただ、いずれの数値も国の定める基準をはるかに下回る健全な状態を引き続き維持していると言える。

⇒報告のとおり了承する。

(4) 令和2年度豊島区補正予算(案)について

幹事 資料に基づき、令和2年度豊島区補正予算(案)について説明。

今回の一般会計補正予算は、第4号補正である。補正予算総額は586,308千円であり、合計で162,130,333千円となる。債務負担行為は総合防災システム関係経費等の4件を追加するものである。その他、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計ともに補正予算を計上する。

⇒提案のとおり決定する。

(5) 令和元年度行政評価の実施結果について

説明者 資料に基づき、令和元年度行政評価の実施結果について報告。

まず、施策評価の結果について説明する。全72施策について、設定した指標に基づき施策の進捗状況を測定したところ、目標超過達成が11施策、達成が28施策、相当程度達成が26施策、未達成が7施策であった。

次に、事務事業行評価について説明する。事務事業評価表はA表、B表、C表の3種があり、そのうち総合評価を含めた詳細版であるA表の評価対象事業が計画事業の1/3にあたる110事業、総合評価なしの簡易版であるB表が計画事業の2/3にあたる240事業、公会計分析の評価も合わせて行うC表が20事業となっている。なお、今年度は新型コロナウイルスに対応した事務負担軽減のため、C表対象事業を除いた一般事業はB表の作成を免除したため、合計130事業が評価対象事業となっている。

続いて、事務事業評価の課題への対応について説明する。総合評価の評価理由が不明確であったという点について、本年度は評価方法を「成果指標の達成状況」、「実施方法の先進性」、「区が実施する優先度」の 3 つの項目で評価するように変更した。また、予算編成への活用が十分されていなかったという点について、本年度は「予算要望」の欄を設け、総合評価は自動的に判定する方式に変更した。

続いて事務事業評価の結果について説明する。今後の方向性が S(拡充)は 14 事業、A(現状維持)は 56 事業、A'(改善・継続)は 40 事業、B(改善・見直し)は 13 事業、C(縮小)は 2 事業、D(終了)は 5 事業であった。

最後に今後のスケジュールについて説明する。9 月中旬頃に区ホームページに掲載するほか、行政情報コーナー、中央図書館等で閲覧に供する予定である。また、決算特別委員会の資料として、区議会議員にも配布する予定となっている。

⇒報告のとおり了承する。

会議の結果	(1) 令和 2 年度第 3 回定例会提出予定案件について (2) 令和元年度各会計歳入歳出決算について (3) 令和元年度決算における健全化判断比率の報告について (4) 令和 2 年度豊島区補正予算(案)について (5) 令和元年度行政評価の実施結果について →(1)、(4)について決定、(2)について一部修正の上了承、 (3)、(5)について了承
提出された資料等	・令和 2 年第 3 回豊島区議会定例会提出予定案件 ・令和元年度 各会計決算総括説明 ・令和元年度一般会計決算の概要 ・令和元年度決算における健全化判断比率の報告について ・令和 2 年度 豊島区補正予算(案) ・令和元年度行政評価の実施結果 ・令和元年度豊島区行政評価(施策評価) 施策別評価結果一覧 ・令和元年度豊島区行政評価(事務事業評価) 事業別評価結果一覧